

II がん罹患数及び罹患率

1. 罹患数、粗罹患率、年齢調整罹患率及び罹患割合（主要部位別、男女別）

2013 年のがん罹患数、粗罹患率及び年齢調整罹患率、罹患割合を、主要部位別、男女別に示した（表 2）。

全がん罹患数は、男 8,647、女 6,325、計 14,972 人であった。人口 10 万人当たりの粗罹患率は男 933.7、女 629.8、日本人モデル人口による年齢調整罹患率は、男 482.9、女 353.8 であった。

男については粗罹患率の 1 位は胃、2 位は大腸（以下、大腸とは結腸と直腸を合わせた症例とする）、年齢調整罹患率の 1 位は大腸、2 位は胃となっており、消化器系のがんの罹患率が高くなっている。

女については粗罹患率、年齢調整罹患率ともに乳房が 1 位、2 位は粗罹患率では大腸、年齢調整罹患率では子宮となっており、女性特有のがんの罹患率が高くなっている。

部位	罹患数			粗罹患率 (人口10万対)		年齢調整罹患率 日本人人口 ^(*)		罹患割合 (部位/全部位)	
	男	女	計	男	女	男	女	男	女
								男	女
全部位	8,647	6,325	14,972	933.7	629.8	482.9	353.8	100.0%	100.0%
口腔・咽頭	194	86	280	20.9	8.6	13.0	4.1	2.2%	1.4%
食道	298	56	354	32.2	5.6	16.4	2.8	3.4%	0.9%
胃	1,380	620	2,000	149.0	61.7	74.8	26.9	16.0%	9.8%
大腸	1,362	1,072	2,434	147.1	106.7	82.4	48.5	15.8%	16.9%
┌ 結腸	846	762	1,608	91.3	75.9	49.7	33.2	9.8%	12.0%
└ 直腸	516	310	826	55.7	30.9	32.8	15.4	6.0%	4.9%
肝臓	479	225	704	51.7	22.4	26.8	8.1	5.5%	3.6%
胆嚢・胆管	167	180	347	18.0	17.9	8.1	5.8	1.9%	2.8%
膵臓	258	261	519	27.9	26.0	14.0	9.7	3.0%	4.1%
喉頭	82	7	89	8.9	0.7	4.5	0.4	0.9%	0.1%
肺	1,249	522	1,771	134.9	52.0	64.4	21.3	14.4%	8.3%
皮膚 ^(*)	205	224	429	22.1	22.3	10.1	7.4	2.4%	3.5%
乳房	9	1,152	1,161	1.0	114.7	0.5	84.3	0.1%	18.2%
子宮	-	571	571	-	56.9	-	57.1	-	9.0%
卵巣	-	117	117	-	11.6	-	9.1	-	1.8%
前立腺	1,218	-	1,218	131.5	-	62.4	-	14.1%	-
腎など	286	132	418	30.9	13.1	16.8	6.2	3.3%	2.1%
膀胱	474	121	595	51.2	12.0	24.0	4.0	5.5%	1.9%
脳・神経系	77	127	204	8.3	12.6	6.2	8.2	0.9%	2.0%
甲状腺	85	235	320	9.2	23.4	7.2	19.3	1.0%	3.7%
悪性リンパ腫	278	227	505	30.0	22.6	16.4	11.9	3.2%	3.6%
多発性骨髄腫	55	47	102	5.9	4.7	2.8	1.8	0.6%	0.7%
白血病	86	62	148	9.3	6.2	6.7	3.7	1.0%	1.0%
日本人人口 ^(*) : 1985年日本人モデル人口									
皮膚 ^(*) : 皮膚の黒色腫を含む									

2013年における罹患数上位10部位を男女別にグラフで示した（図2）。

図2 部位別罹患数2013年（上位10部位）

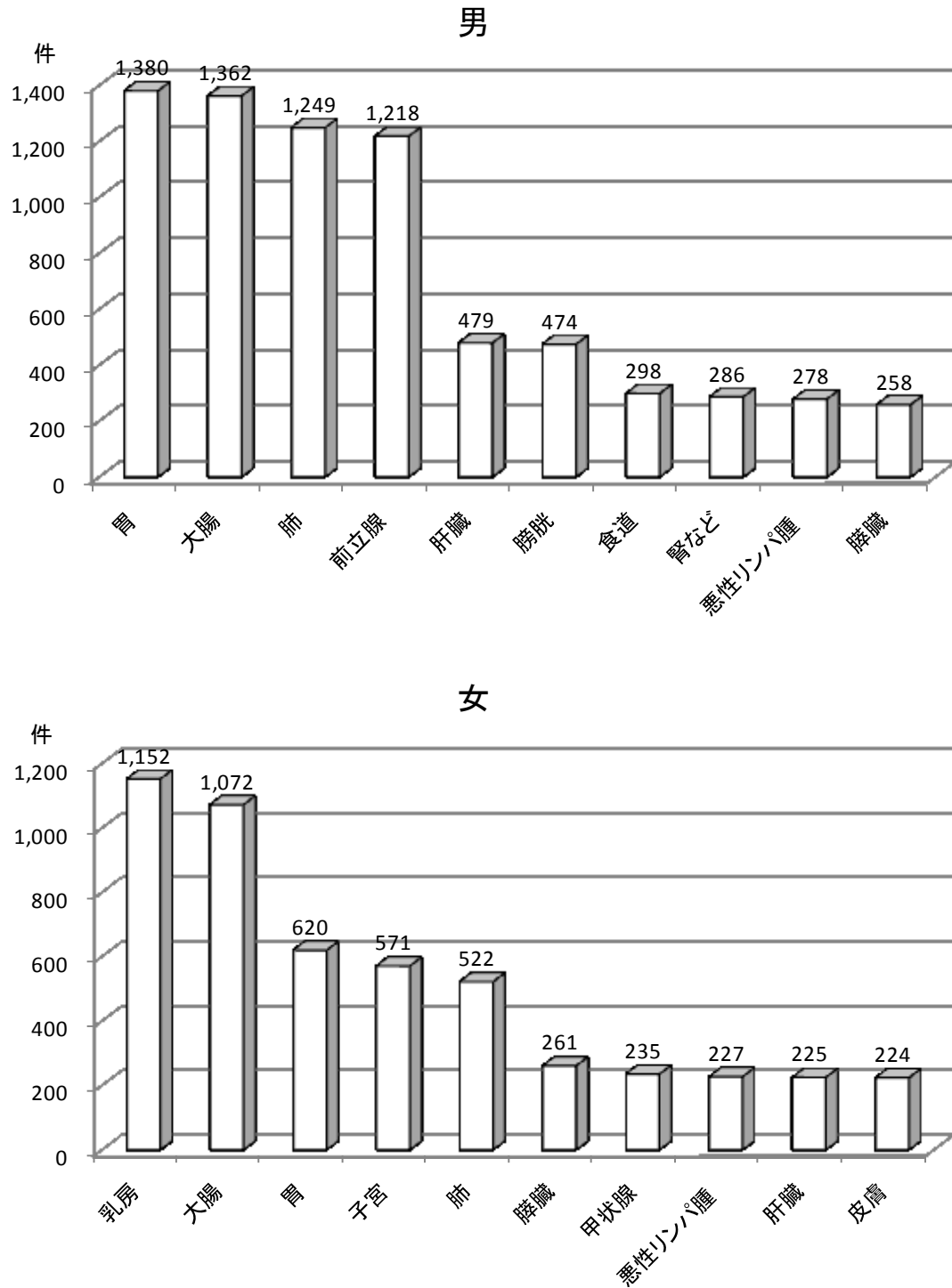


図3 年齢調整罹患率2012年(男)

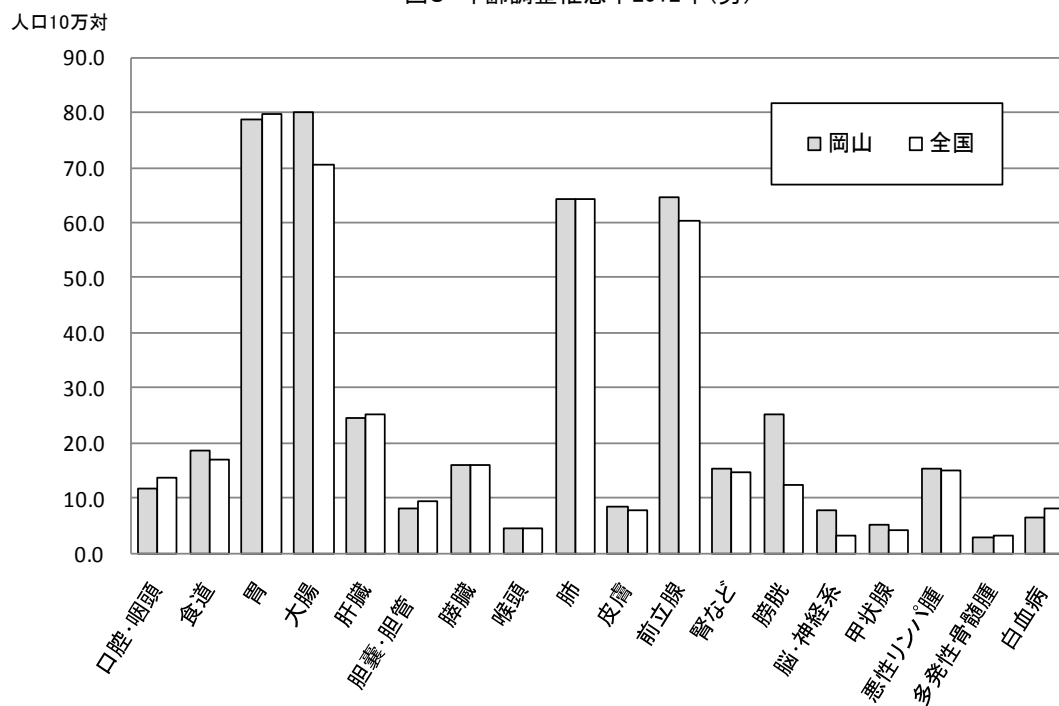


図4 年齢調整罹患率2012年(女)

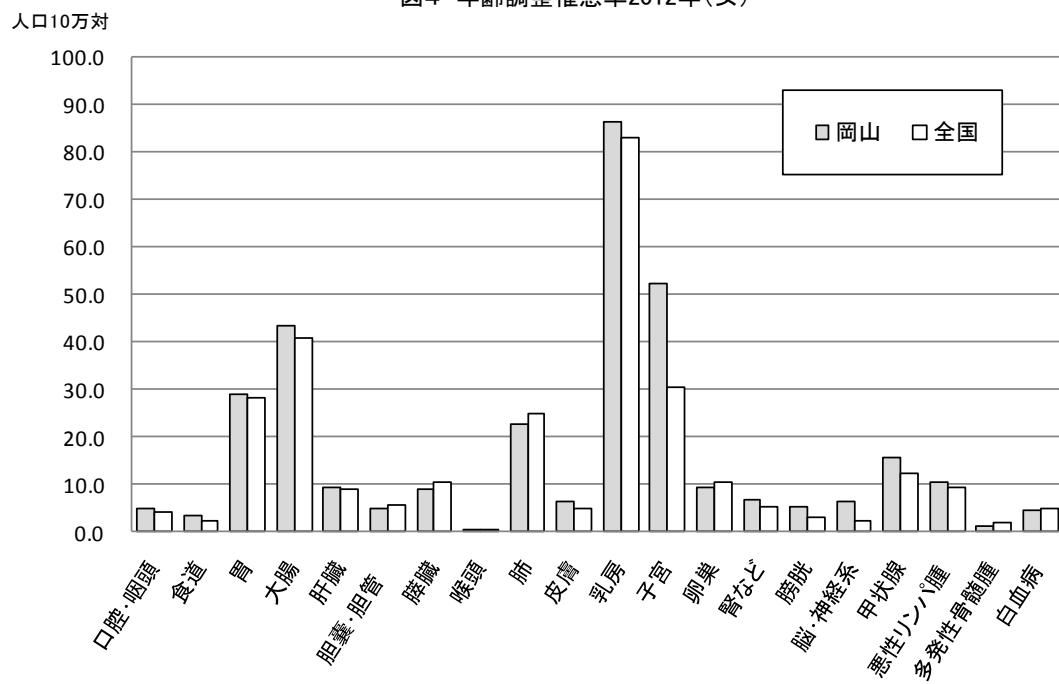
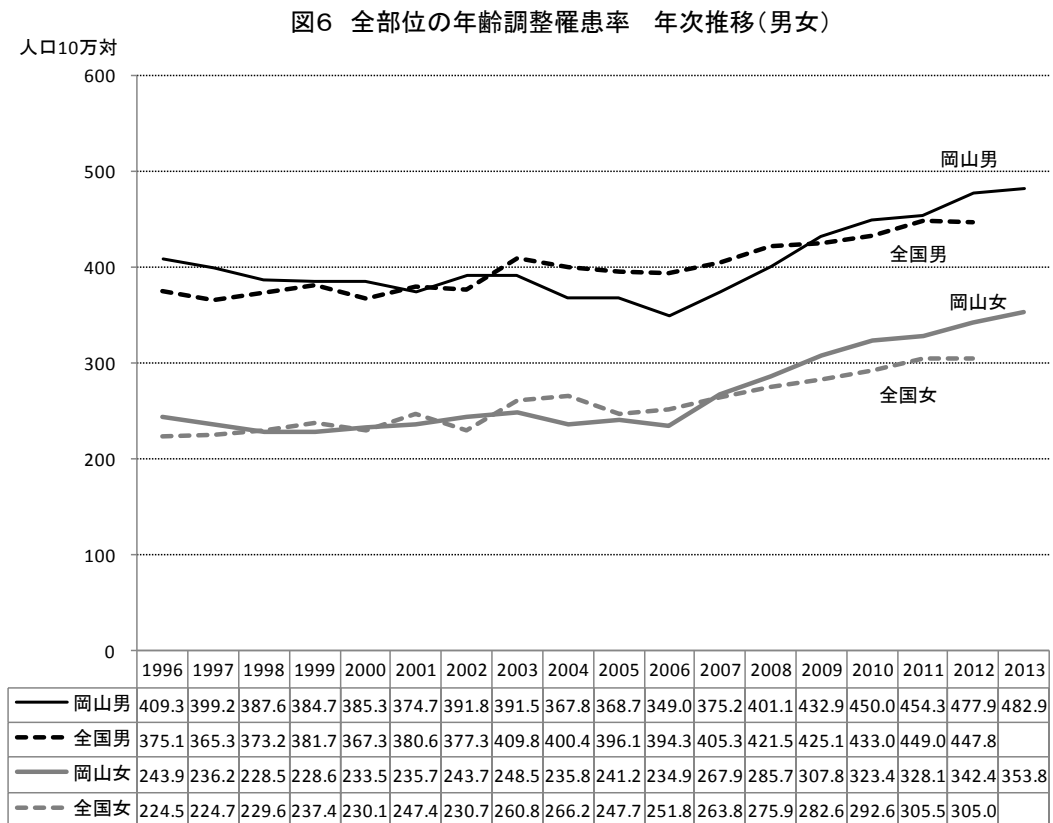
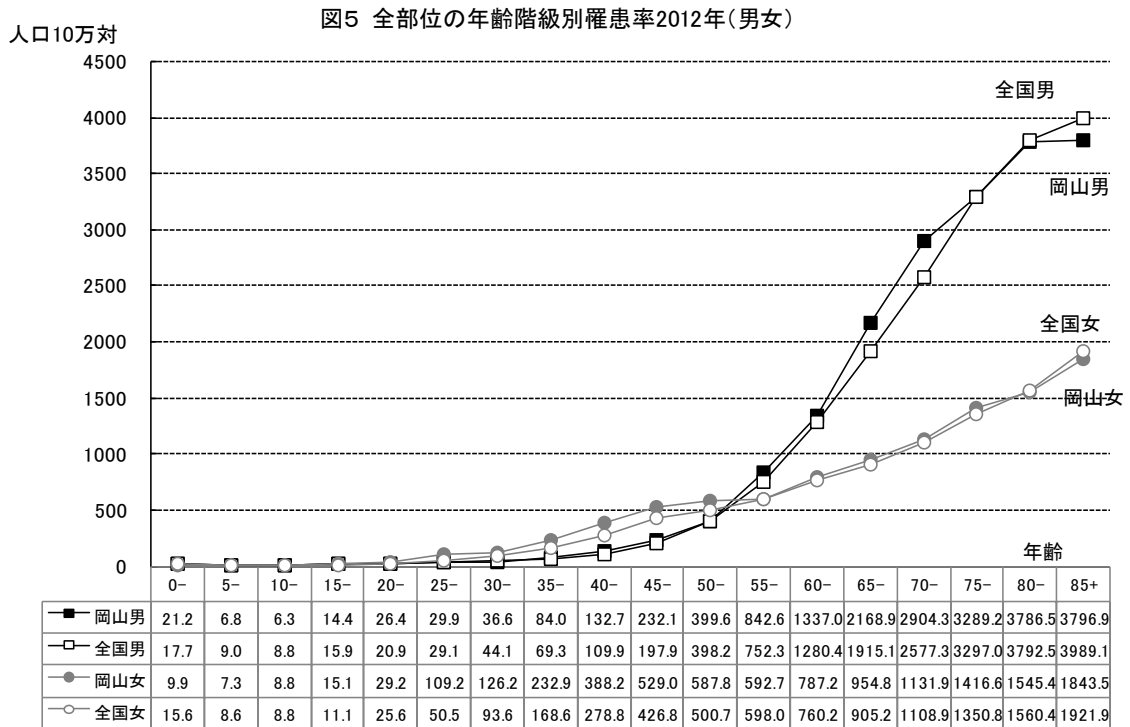


図5に岡山県の全部位の5歳年齢階級別・性別罹患率のグラフを2012年全国推計値とともに示した。

図6に全部位の年齢調整罹患率（標準人口：1985年日本人モデル人口）の1996年～2013年の年次推移を男女別に全国値（1996年～2012年推計値）とともに示した。

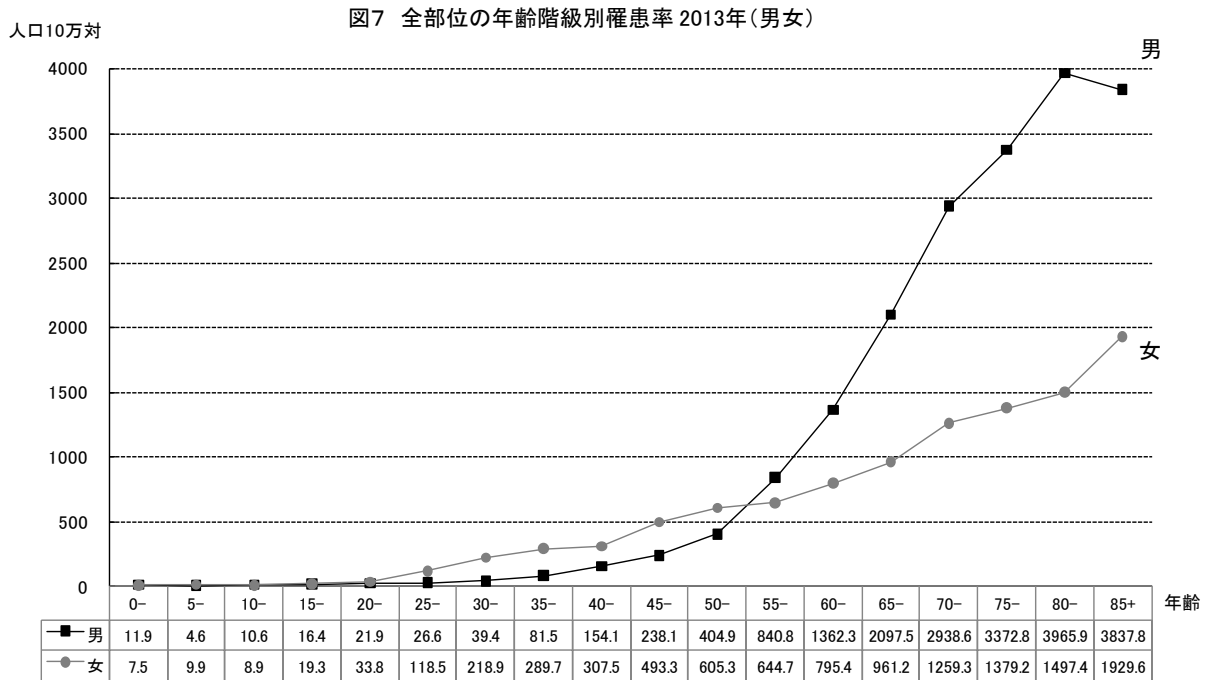


3. 年齢階級別罹患率

(1) 全部位の年齢階級別罹患率

全部位の年齢階級別罹患率を男女別に示した（図7）。

男女ともに年齢が高くなるにつれ、がん罹患率が高くなっている。男の罹患率は50歳を過ぎる辺りから急増する傾向にあり、年齢が高くなるにつれて男女の罹患の比率の差が大きくなっている。



(2) 特定部位別の年齢階級別罹患率

特定部位の年齢階級別罹患率を男女別に示した(図8、9)。

男は50歳台からいずれのがんも罹患率が増加している。肺がんと胃がんの罹患率は70歳台を超えても上昇している。

女では乳がんの好発年齢である40~60歳台までの罹患率が高くなっている。また、子宮がんの罹患率は子宮頸がんの好発年齢とされる20~30歳台から増加して、30~40歳台にピークになっている。

図8 年齢階級別罹患率 2013年 <特定部位> -男-

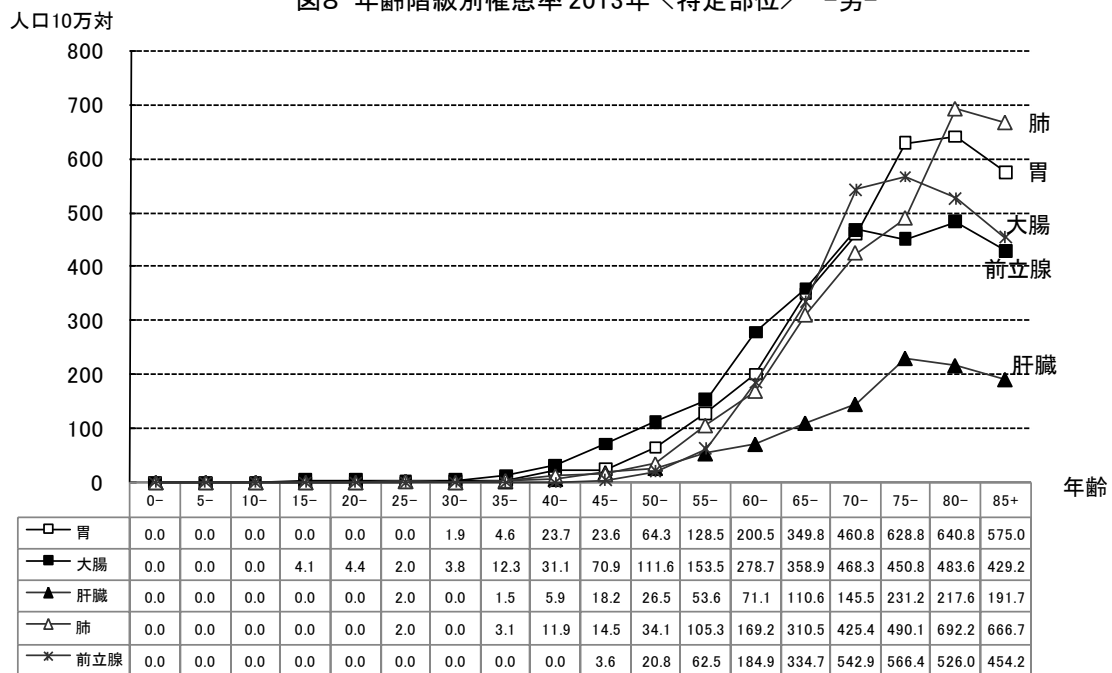
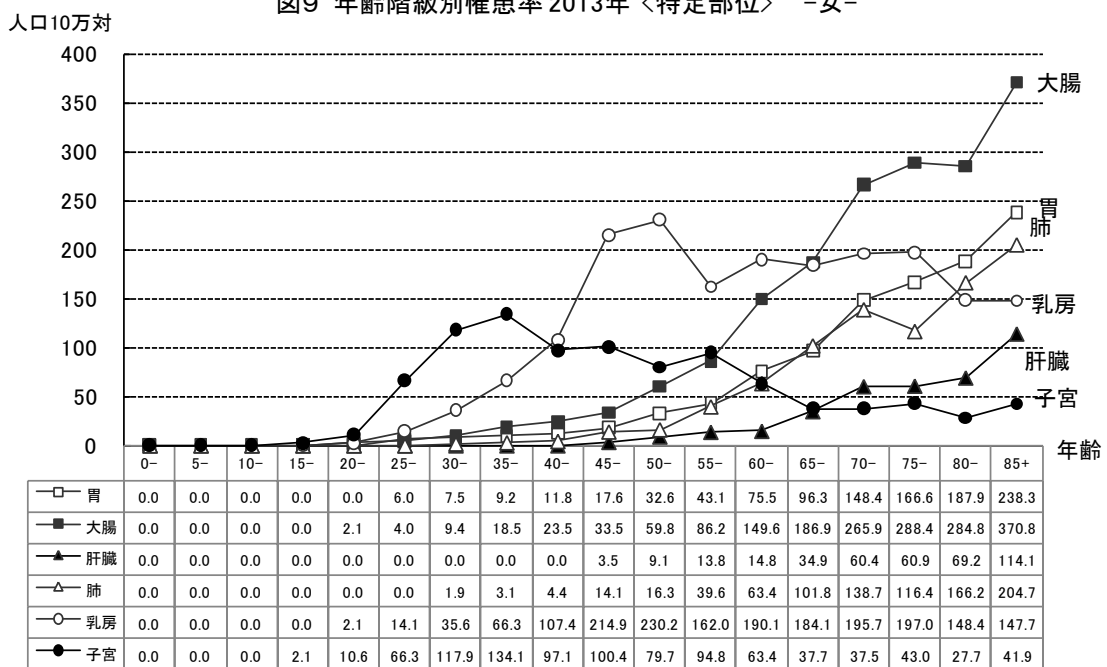


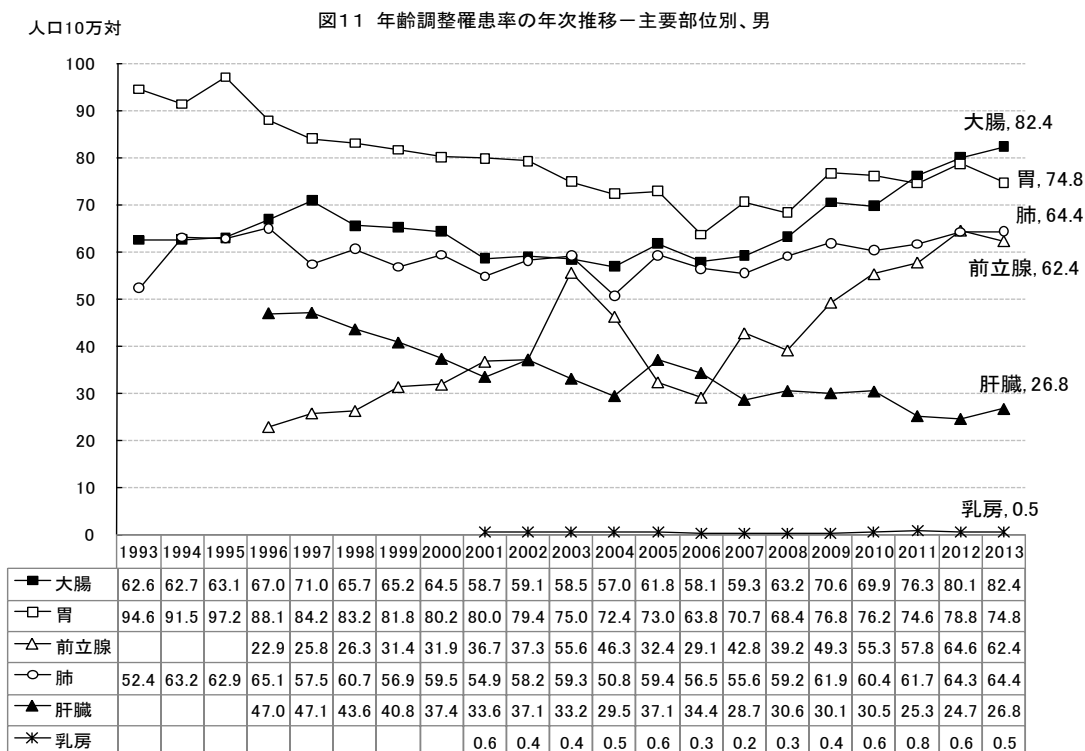
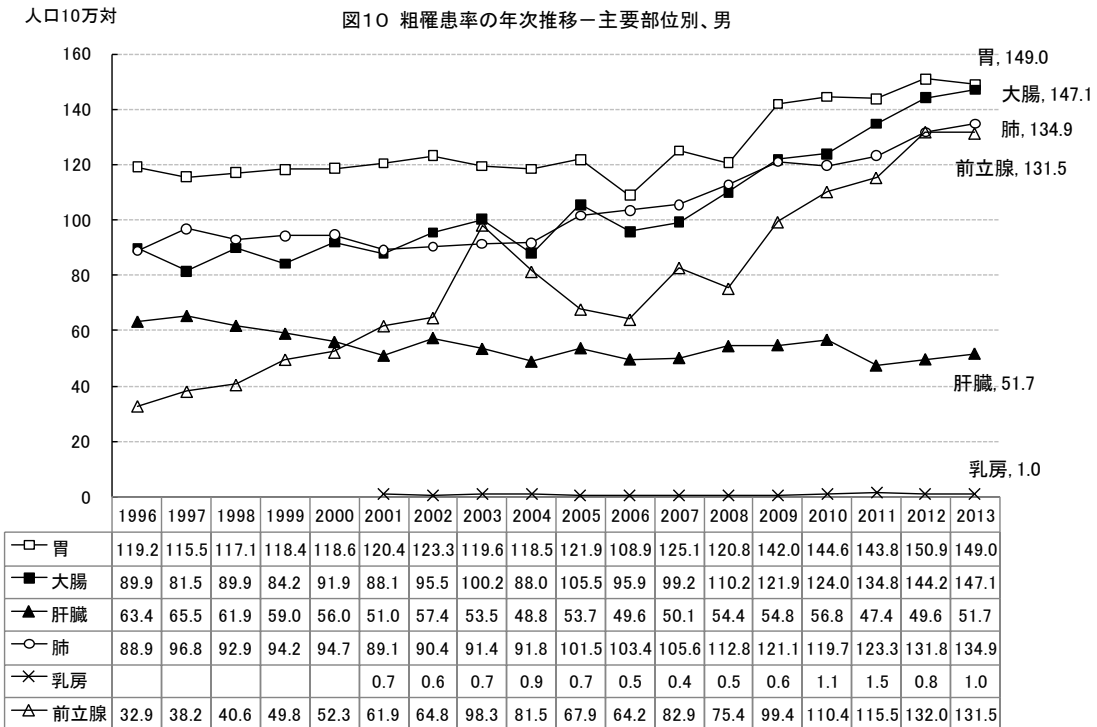
図9 年齢階級別罹患率 2013年 <特定部位> -女-



4. 男女別の主要部位別罹患率の年次推移

男の主要部位別罹患率の推移を粗罹患率と年齢調整罹患率とで示した（図10、11）。

年齢調整罹患率をみると大腸がん82.4、胃がん74.8が他の部位に比べて高く、2008年以降前立腺がんの罹患カーブが上昇傾向にある。大腸がんは2011年から1位となっている。



女の主要部位別罹患率の推移を粗罹患率と年齢調整罹患率とで示した（図12、13）。
 年齢調整罹患率を見ると年次をおって乳がんの罹患率が高くなっており、2013年は人口10万対84.3と他のがんと比較すると圧倒的に高くなっている。

図12 粗罹患率の年次推移—主要部位別、女

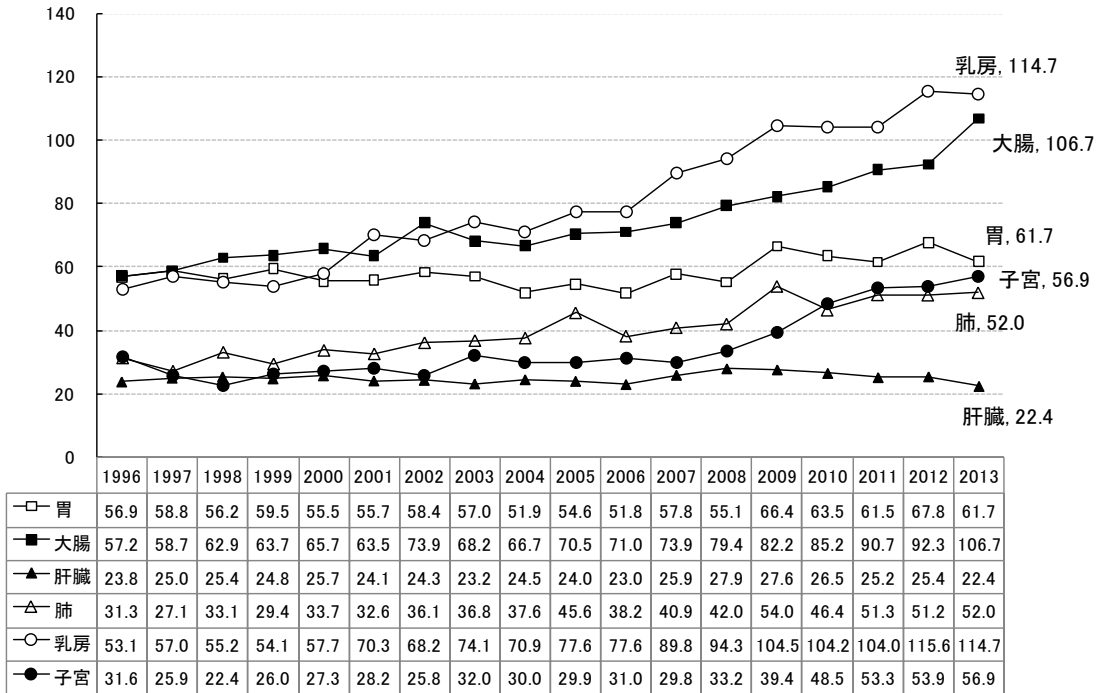


図13 年齢調整罹患率の年次推移—主要部位別、女

